

ハーダー・ゼイ・カム (1973)

THE HARDER THEY COME

メディア 映画
ジャンル ドラマ 音楽 青春
製作国 ジャマイカ
色彩 Color
時間 104分
初公開日 1978/04/03
公開情報 キティ
リバイバル 2006/6/24 [シネフィル・イマジカ]
2014/07/05 [日販] <40周年HDニューマスター版>

【解説】

高度経済成長期の日本なら、ロカビリー歌手を目指して、ということになるだろうが、そこは70年代初頭のジャマイカ。農村から首都キングストンに上るのは、実際にも歌手のJ・クリフ演ずるレゲエ・シンガー志望の青年。親切を装う男に身ぐるみ剥がされるが、牧師に救われ、牧師の娘と恋仲になるあたりから運が向いてくる。録音スタジオに行く機会を得た彼は、頼み込んでオーディションをしてもらい、自作曲“ハーダー・ゼイ・カム”を吹き込む。歌はヒットするが、喧嘩が原因で自分は逃亡の身となる。そして、警官の銃弾に、無念にも倒れる。粗雑な作りながら、熱いパッションが全編を貫き、クリフの曲以外にもレゲエ・クラシックが効果的に使われる。サントラ盤は入門者必聴だ。原初的な力に触れたときは迷わずこれを観る……と、あるミュージシャンが言っていた。なるほど、そんな呪術性を感じる映画だ。

【クレジット】

監督	ペリー・ヘンゼル	Perry Henzell
製作	ペリー・ヘンゼル	Perry Henzell
脚本	ペリー・ヘンゼル	Perry Henzell
	トレヴァー・ローヌ	Trevor Rhone
撮影	ピーター・ジェソップ	Peter Jessop
	デヴィッド・マクドナルド	David McDonald
	サン・ジュスト	
音楽	ジミー・クリフ	Jimmy Cliff
出演	ジミー・クリフ	Jimmy Cliff
	ジャネット・バークレイ	Janet Barkley
	カール・ブラッドショー	Carl Bradshaw
	ボビー・カールトン	